

元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま



県立総合技術研究所におけるDXの取組

概要説明

令和6年2月29日



所長 坂手 宣夫

広島総研は、公立の試験研究機関であり、様々な産業分野で、県内の中小企業や農林水産事業者の技術支援等を行っている。

役割

広島総研 中期事業計画（第2期）より抜粋

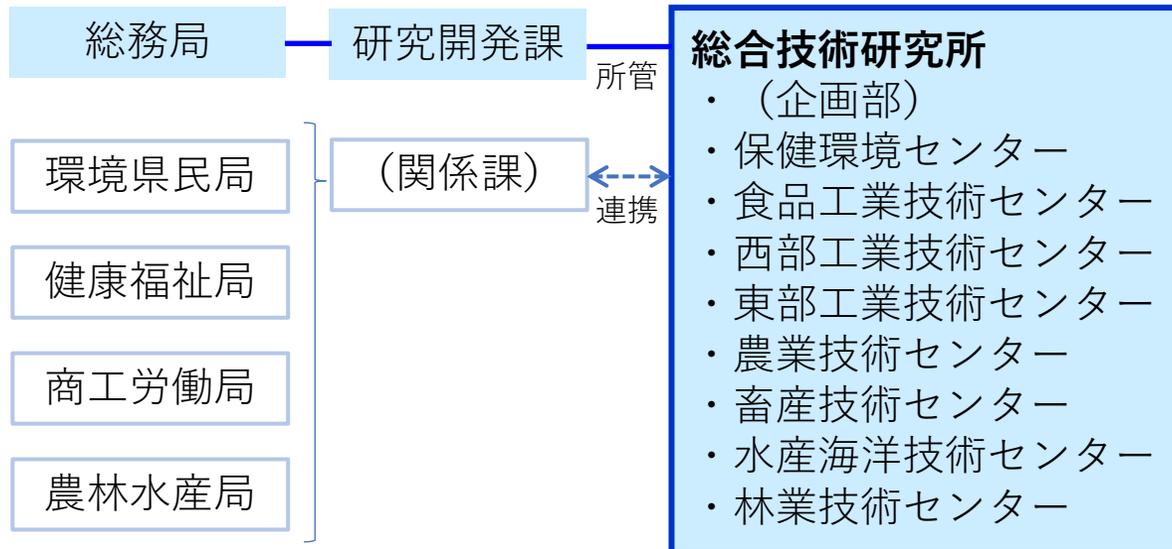
- 中小企業や農林水産事業者（以下、事業者等と言う）の既存製品の改良・新製品開発・生産性向上を支援し、事業者等の付加価値向上による県経済の持続的発展に貢献する。
- 保健環境、商工労働、農林水産などの各事業局が推進する施策の実現に貢献する。
- 感染症や災害・事故時等における県民の健康と快適な生活環境の確保に貢献する。

広島総研の体制と所在地

広島総研は、工業、農林水産、保健環境の8センターから構成されている。デジタル技術に強い工業系センターと他のセンターが連携することにより、多岐にわたる産業分野におけるDX関連の技術支援を効率的に実施している。

体制

平成19年～

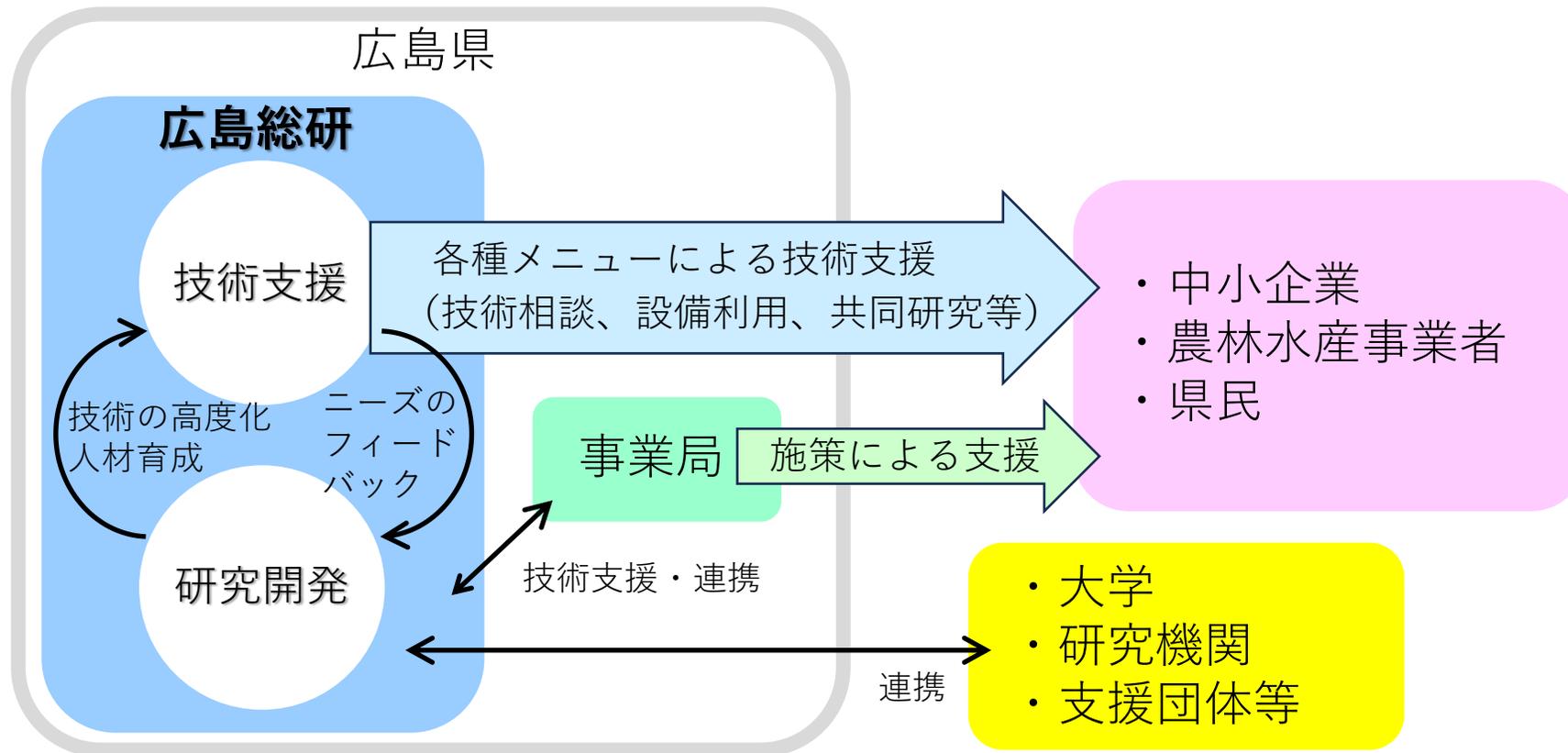


所在地

県内11拠点 (支所、企画部含)



事業者等の技術支援を行うと共に、将来にわたり、技術支援を継続することができるように、研究開発にも取り組んでいる。



技術相談等

● 技術相談

製品の品質評価、成分分析、農作物の栽培改善等について、相談することができる

無料

機器設備の利用等

● 設備利用

● 依頼試験

当所の設備を利用して、試験、検査、分析ができる
当所に実施を依頼することもできる

有料

● 技術的課題解決 支援事業（ギカジ）

当所に、調査、測定、分析、評価等を依頼して、技術指導や技術支援レポートを受けることができる

研究開発等

● 受託研究

● 共同研究

研究の委託や共同で研究開発することができる

有料

知財活用等

● 許諾

特許権、育成者権、商標権の許諾を受けることができる

● 技術情報開示

ノウハウやプログラムの技術情報の開示を受けることができる

有料

広島総研のDXの取り組み ～支援機能強化に向けたロードマップ～

DXに関する技術支援は、以前より工業系センターを中心に実施してきた。令和2年度より、広島総研全センターにおけるDXに関する技術支援機能の強化に着手した。

広島総研内部のレベルアップ

DX技術支援強化

支援継続

ステージ1 (R2～R4)

ステージ2 (R5～R7)

ステージ3 (R8～)

- ・ 研究員の育成 (AI・IoT研修等)
- ・ 設備の整備 (機器、ネットワーク等)
- ・ デジタル技術/ノウハウ蓄積

(1) 共通ニーズへの対応

- ・ 技術基盤 (技術、設備等) の構築
- ・ 支援の体制整備と実施

- ・ 本格的な運用

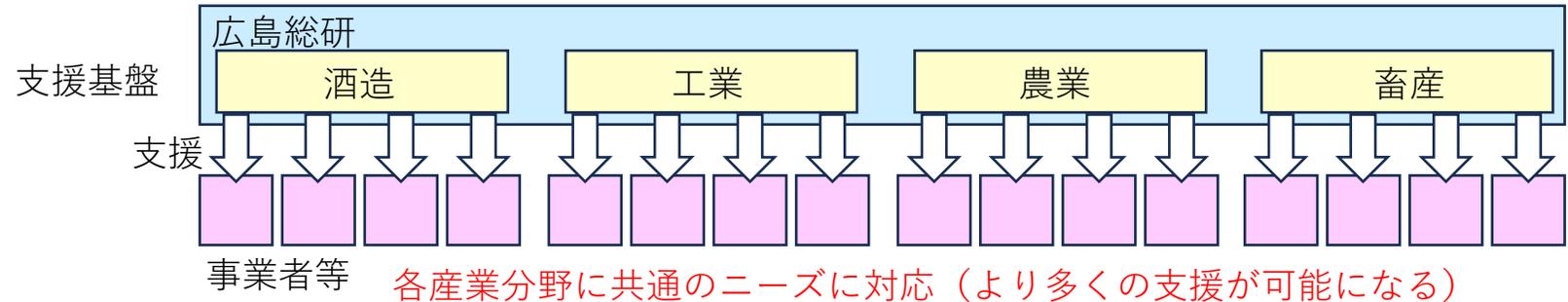
(2) 個別ニーズへの対応

- ・ 従来の技術支援のレベルアップ

(1) 共通ニーズへの対応

各産業分野において、共通して幅広く活用できるデジタル技術に着目し、その支援基盤を構築して効率的に支援を行うもの

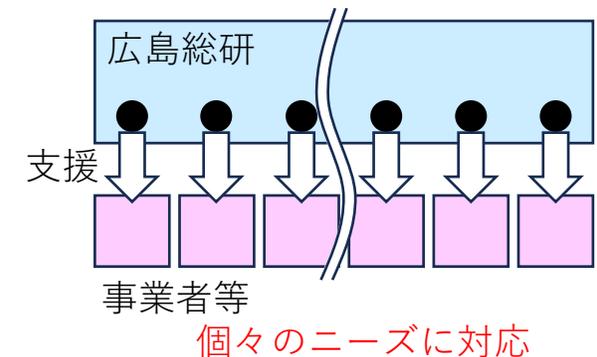
→生産現場のデジタル化に向けた支援基盤の構築の取組事例（4テーマ紹介）



(2) 個別ニーズへの対応

従来の支援メニューの中で、個々のデジタルニーズに対応するもの

→デジタル技術により様々な作業効率を改善した事例（4テーマ紹介）



広島総研DXの取り組み ～共通ニーズへの対応の取り組み事例～

酒造

《普及方法》

十数社を対象にシステム構築・実証・完成させ、事業終了後には、他の酒造会社を巻き込むように展開する（酒造組合に引継ぐ等、運用方法検討する）

《実施内容》

複数の県内酒造会社が閲覧・検索等ができ、予測・相談等の支援を提供できるシステムを構築する



《目的》

酒造会社の酒造工程を見える化し、オンラインでの技術支援を実現

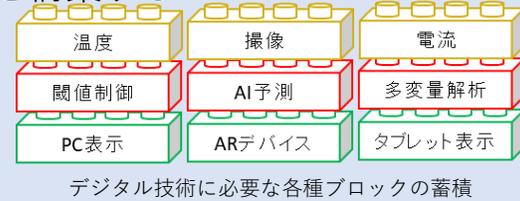
工業

《普及方法》

蓄積したブロックをデータベース化し、技術支援に活かすとともに、テストベッドを設置し事業者がデジタル試行を行える環境を整備する

《実施内容》

組合せ可能なブロック（入力・処理・出力の各要素）を蓄積し、事業者が気軽に試行できる環境を構築する



《目的》

デジタル技術の試行による効果・コスト検証支援で技術導入を促進

農業

《普及方法》

生産者への直接的な支援（環境制御技術導入等）や普及指導員を通じた面的な支援を実施する

《実施内容》

様々な品目に対応できる環境制御技術や栽培のデジタル化を促進する栽培環境制御支援ツールを開発する



《目的》

栽培情報のデジタル化支援で、作物の収量増、作業効率化を促進

畜産

《普及方法》

センター内での検証や生産者農場での実証を通じて評価手法を確立し、普及指導員による事業者支援等を通じて畜産事業者へ広く普及させる

《実施内容》

肥育牛の飼育管理評価手法及び乳牛の快適性評価手法を開発する



《目的》

生体情報に基づく飼育管理最適化支援で、産肉・産乳成績を改善

お問い合わせ先

広島県立総合技術研究所

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-soken/>

企画部

TEL 082-223-1200

FAX 050-3156-3479

Mail sgkkikaku@pref.hiroshima.lg.jp

ホームページは
こちらから



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

ご清聴ありがとうございました